

## 安成通信 2016/05/28 (旧) 鞍馬街道を行く



私は、地球研からの帰途は、時間の許す限り、運動がてら旧鞍馬街道を地下鉄北山駅まで歩くことにしています。地球研前のバス道（現在の鞍馬街道）を東に数百メートル歩き、長代川の橋の手前を京大演習林敷地に沿って右折すると旧鞍馬街道に入ります。幡枝の里とよばれた静かな里山も新しい道ができたため、今はすっかり新興住宅地になっていますが、圓通寺近くになると、道は小川（側溝）沿いになり、かつては藁葺屋根だった古民家も現れます。圓通寺は比叡山を借景にした庭園で有名です。確かに、この道からの比叡山は堂々として、去就する雲も含め日々の姿の変化は楽しい。その昔、牛若丸も鞍馬に行く途中この景色を楽しんだのかもしれない。このあたりは右手に森が迫り、季節ごとの小鳥の鳴き声に癒されます。夏の夕方は蝸（ひぐらし）の大合唱が響きます。

やがて、道は上賀茂の里への峠にさしかかります。両側は山が迫り、覆いかぶさるような大木の林となっています。梅檀（せんだん）の高木もあり、今の季節は見上げるような高さに白い花が満開です。この峠は夜になると鹿の群れが行き来するようです。峠の切通しからはいつも水が浸みだし、上賀茂側の小川の水源となっています。峠からは「びっくり坂」といわれている急坂の下りがあり、街道は上賀茂の里に入っていきます。私の学生の頃は古い民家が並ぶ風情のある小川沿いの山道でしたが、その後、小川はコンクリートでふたをされて道の一部となり自動車を通れる道となったため、現在は密集した住宅地の道になってしまいました。ただ、深泥池貴船神社という古い神社が、貴船神社の分社として残っており、街道の名残をとどめています。この境内には、このあたりが発祥の京漬物「すぐき」を祀る秋葉社もあります。「地球犬」も賀茂ナス子さんと一緒に一度お参りに行くといいですね。街道が上賀茂の市街地に出るところに深泥池があります。この池は十数万年前に堰き止められてできたとされる自然の池で、氷河期の動植物が今も生き延びており、水生植物群は国の天然記念物となっています。宅地のわずかな隙間に残る京野菜の畑を見ながら、広い車道を歩くと、間もなく北山交差点です。地球研から北山駅までほぼ 35 分のウォーキングです。

道は、人の生活圏・文化と自然のあり方、即ち風土の形成に大きな働きをしています。そんな人と自然の関わり合いの歴史を感じながらこの街道を歩くことは、私の楽しみでもあります。